

平成29年

目黒区教育委員会

第26回定例会会議録

(平成29年7月11日開催)

第26回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成29年7月11日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	尾崎 富雄
	教育委員会教育長職務代行者	中山 ひとみ
	教育委員会委員	木村 肇
	教育委員会委員	笹尾 敦夫
	教育委員会委員	後藤 幸子

出席職員	教育次長	野口 晃
	教育政策課長	山野井 司
	学校統合推進課長	増田 武
	学校運営課長	村上 隆章
	学校施設計画課長	照井 美奈子
	教育指導課長	田中 浩
	教育支援課長	酒井 宏
	統括指導主事	寺尾 千英
	統括指導主事	古舘 秀樹
	生涯学習課長	馬場 和昭
	八雲中央図書館長	石松 千明

書記		小野塚 幸隆
		山東 隆博

(議事日程)

日程第1	協議事項	平成30年度使用目黒区立小学校教科用図書(道徳)の採択について
日程第2	報告事項	平成29年度目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(平成28年度分)報告書(素案)について
日程第3	報告事項	平成29年度教育施策説明会(前期)の実施結果について
日程第4	報告事項	平成30年度学校標準給食費の検討について
日程第5	報告事項	目黒区立中学校における夏季休業中の英語教育事業について
日程第6	報告事項	教育委員会名義の使用承認状況について
日程第7	報告事項	学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について

資料配布

- ・学校統合推進課だより(南部・西部地区版)No. 19

(午前9時30分開会)

- 教育長 第26回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。本日の欠席委員、欠席職員はございません。署名委員は木村委員です。  
ただいま、傍聴の申請がありましたのでお諮りします。傍聴を許可したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長 それでは、傍聴を許可することといたします。  
なお、以後の傍聴の申請はその都度許可することとし、委員の皆様にはお伝えすることはいたしません。  
それでは日程第1を議題とします。

(日程第1 平成30年度使用目黒区立小学校教科用図書(道徳)の採択について(協議事項))

- 説明員 (資料により説明)

- 教育長 ありがとうございます。

ただいま事務局より説明がありましたとおり、今回採択する教科用図書は小学校で平成30年度から使用する「特別の教科 道徳」でございます。皆さんのところには既に教科書の見本本、調査研究委員会や学校からの報告書が事務局から事前に届けられていると思いますので、一通りご覧いただいていると思います。本日は、教科書調査委員会報告書と学校報告書なども参考にしながら、実際に教科書を手にしていただいで協議を進めていきたいと思ひます。

なお、協議の進め方ですけれども、本日から4回程度かけて協議を進めたいと思ひます。最後の8月1日には1種目に候補を絞った上で、8月8日には採択の議決を行うといった予定で進めたいと思ひますけれども、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

異議がないようですので、あくまでも予定ということで、進めていきたいと思ひます。なお、議論の際に呼ぶ各教科書の発行者

名につきましては、説明にありましたとおり、お手元の一覧表の呼称欄の記号でお呼びいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは、本日の協議に入りたいと思いますけれども、道徳が教科化されて初めての検定教科書ということになりますので、いきなり個別の教科書の議論には入らずに、まずはお一人につき2～3分程度で各社の教科書をごらんいただいた上での全体の印象ですとか感想を言っていただき、次週から個別の議論を進めていきたいと思います。

それでは、よろしくお願いします。

○委員

今回初めて採択というところで、8社からそれぞれ教科書が出ているという状況で、ざっと見たところ、それぞれの会社によって特色があると思います。その1つは、その考え方の道筋に重点を置くところと、結論をしっかり明示してそれに誘導したいというか、そこを明示しているというところで、大きく分けてその2つの方向があるのかと思います。

これは現場で先生方が教えるに当たって、すごく悩まれるところだろうなと思いますが、まだ全学年を見たわけではないのですけれども、結論が全くなくて純粋に考えさせるほうがいいのか、ある程度結論めいたものが自然に出てくるのがいいのか、あるいは明確に結論を書いてあるのがいいのかというのは、悩ましいところだろうなと思います。

ただ、道徳とっていろいろなことを考えて、特に今の世の中は多様性ということが重視されている中で、いろいろな考え方があるということで、十分に話し合ったり考えたりというところからすると、余り明確な結論を立てて、それが正しいというような一義的な考えを押しつけるようなことというのは、どうなのかという気はいたしました。

各テーマそれぞれたくさんありますので、今後はそのテーマごとに各社を比較して私なりに絞りたいと思っています。

○委員

私もざっとですけれども、8社のものを全部目を通して、印象としては、先の委員とも重なりますけれども、深く考えさせるところと、ある程度結論を導いているところが分かれているという点と、設問がたくさんあって、ある程度先生方がやりやすいように設定されているもの、設問が割と大きくあって、先生の裁量によってそこからどうやって深掘りさせていくかというところ

などが教科書によって違うというところが目につきました。

あとは、子どもたちが読むものなので、子どもたちがどのようなものに興味を持っているか。例えば、最近の話題が出ているかとか、昔からのそういう題材があったりとか、最近のものが取り入れられたりとかも見ました。全体的には教科書によって、最近のスポーツ選手を取り入れているところもあれば、古くからの題材が多いところなどもあると思います。

全体としては、どの教科書も新学習指導要領を全てクリアしているものなので、よく工夫がされていると思いますが、最後は多様性を受け入れるとか、主体的に考えるというところに着目をして、そこにどうやって仕掛けられているかというところをもう少し絞り込んで見ていきたいと思います。

○委員 私は、どちらかというと教える立場というより、学ぶ側の意欲を引き出せる教科書になっているかどうかというところを重点にしたいと思っています。もちろんほかの項目についても一通り目を通すつもりでおりますけれども、調査研究委員会では主体的に学習に取り組む態度を育むための工夫がなされているかという1つの項目がございます。その項目の各社の評価について、まずはどういう評価をされているかを見た上で、自分自身の目でそれを確認していくということを基本にしたいと思っております。

○委員 私自身も今までお話になった委員の方たちと大体同じスタンスです。この8社の教科書を見ますと、8社ともそれなりの工夫が施されて、例えば最初から選択じゃなくて1社を使いなさいといったらそれを受け入れられるというか、そのレベルまでにはもう達していると思いました。

その中で、2つの視線、教える先生側の立場ではどれが使いやすいのか、それから、今度は使う児童の立場からどれが1番学びやすいのか、ということだと思います。

そうすると、児童が使いやすいのは、先生の裁量が生きなかつたりするので、その先生の力量、裁量、努力がうまく使える教科書、そしてなおかつ児童でいえば1年生がまだ低学年であっても理解できる、そして批判力の出てくる高学年においても、押しつけではなくて、素直に受け入れられるようなスタンスになっているかと、そういう立場で見せてもらいました。

なおかつ、先ほど委員がおっしゃった設問の数も多過ぎると消化不良を起こしたり、先生の裁量が生きてこない。少ないと標準

化が図れないおそれもあるということもあるので、自分なりに検討しました。この8社というのは、おおむねよくそれぞれ素晴らしい努力の跡は見えると感じております。

○教育長

ありがとうございました。

ただいま4人の皆さんから貴重なご意見、ご感想をお伺いすることができました。確かに8社という数がございますので、各社それぞれにいろいろな特徴があり、工夫がなされているところだと私も感じています。1つ選ぶということは、なかなか大変な作業ですけれども、私も本日の皆さんのご意見をしっかりと踏まえた上で、改めて教科書をじっくりと拝読したいと思っております。

皆さんのご意見は、総論の部分ではおおむね同じ方向だと感じました。各論の段階に入りますと、それぞれの感性というものがありますので、この辺は次回以降じっくりと協議を進めてまいりたいと思います。本日はこれまでといたしまして、来週から本格的に絞り込みの作業に入っていきたいと思います。

委員の皆様におかれましては、教科書や報告書等の配布資料に再度目を通していただき、改めてまた検討していただければと思います。

ここで議事の都合上、暫時休憩とします。

(午前9時49分休憩)

(午前9時51分再開)

○教育長

休憩前に引き続き会議を開会します。

次に日程第2を議題とします。

(日程第2

平成29年度目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の点検及び評価(平成28年度分)報告書(素案)について(報告事項))

○説明員

(資料により説明)

○教育長

この件についてご質問等はございますか。

○委員

この評価は、最終的にこの学識経験者がされているということでしょうか。

○説明員

学識経験の方がされているというより、各課が自己採点でAか

らCまでの評価をしまして、そのAからCまでの評価に対して、理由ですとか取り組みの内容も書いた個票を学識経験の方にお示しし、ヒアリングをして、ご意見を伺った上で、再度調整をしたものがこの素案に記載の評価になっています。今回各課で評価したものをヒアリングで変えたものは、今の素案の段階ではございません。

○委員      そうなりますと、客観性というか、毎年の継続性というか、例えば今年がいつもよりも自己評価が甘かったとか、そういうことはなく、Aの割合が増えているということは、いい方向に向かっていると考えてよろしいでしょうか。

○説明員      基本的には、この教育行政運営方針を作成する段階で定量的な部分については、点検・評価をするときの項目を作成していて、それをベースにしながら、定性的な部分について、実際に取り組んでどうだったかというところの説明の記載、今後の方向性などを混ぜ込みながら評価をしています。総体としては、取り組みが進んでいると捉えていますけれども、この記載の内容と点検・評価のA、B、Cの結果を具体的に見比べて見ますと、まだAからCまでの評価とこの記述が結びつかない部分もややあるかに思えますので、また再度調整をしながら進めていきたいと考えてございます。

○委員      評価の継続性といいますか、前年度あるいは前々年度からの進展があったというようなことも、ぜひ書き込んでいただければと思います。この案件について、前々年度よりは前年度が進展した。さらにそれが上にいっているということであれば、A評価に近いだろうと。ただ、B評価という形になると、前の年と比べて努力が足りなかったのかという見方も出てきますので、できればその継続性を持った表現を書き入れる余地があれば入れていただければと思います。要望でございます。

○委員      先ほどそのA評価については、昨年度、一昨年度のパーセンテージの説明がありました。例えばC評価は昨年度ありましたか。

○説明員      最終的には昨年度、それから一昨年度もC評価はありません。昨年は素案の段階でいじめ防止条例をC評価としましたけれども、少し厳し過ぎるのではないかというご意見もいただいて、B評価とさせていただいた状況です。

○教育長      以前のものと比較しますと、格段に素晴らしい内容になっていることは、これは間違いないことです。しかし、さらに高みを目



指していくに当たりまして、まず定量的にどうだったかというのを書いてもらって、その後、定性的にどうだったか。そこの効果の部分の記述が少し弱いように思います。

今後の方向性等のところですが、今後の方向性の着地点が来年度を着地点としているものもあれば、5年先、10年先を見据えた今後の方向性を書いている部分もあるので、書きぶりを統一したほうが良いと思います。

ただ、内容によっては学校統合のように3年後、5年後を見通しているものもありますので、必ずしも翌年とは限らないと思いますけれども、もう一回、縦軸と横軸で見てもらいたいと思います。どうも書きぶりが縦割りのようなところもあるように散見されますので、さらに精度を高めていただきたいと思います。

それから、A、B、Cの評価については、学識経験者のコメントを待ちたいと思いますが、これはなぜAなのか、これがなぜBなのか、というところが少し弱いような気がしますので、再度見直していただきたいと思います。

○説明員 今のご趣旨にそって、もう一度各課でも点検をして見直していきたいと思います。これは単年度の教育行政運営方針についての点検・評価で、複数年にわたる計画についてのものではないので、基本は単年度の評価です。その点で少し難しさもあるかと思いますが、前後の比較や着地点についても、ご趣旨に沿って、もう一度調整をしたいと思います。

○教育長 その他ご質問等ございますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 平成29年度教育施策説明会(前期)の実施結果について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。

○委員 この日程、開催日時に関してですが、27日が運動会と重なり、20人という非常に少ない人数という印象です。教育委員会がどのように目黒区の教育をよくしていこうかというところがよくわかり、その場で質疑ができ、それに対してすごく丁寧に受け答えをしていただけたということで、ぜひ多くの方に参加し

ていただきたいと思うのですが、日程的に行事と重なると参加しづらと思います。

1つの案として、週末しか出られない、行けないという保護者の方や地域の方もいらっしゃると思いますが、逆に平日のほうが出やすいという方もいらっしゃるのではないかと思ったので、日程のつくり方を少し検討していただきたいと思います。

○説明員 土曜日の午前中に実施するに至った経緯として、以前は土曜日の午前と、平日の夜に行っていましたが、平日の夜の参加者が少ないという実態があつて、今に至っているということもあります。ただ、もう一度どうなのかということもあると思うので、今のご意見も参考に、検討させていただきたいと思います。

○委員 例えば、アンケート等で男女を書く欄がありましたら、見せていただきたい。例えば、専業主婦等の方は、平日の昼間のほうが参加しやすく、夜は参加しにくいとかもあると思うので、男女比も出てくると、検討材料になるかと思います。夜は、お子さんがいらっしゃる方は参加しにくいだろうし、週末も行事があると参加しにくいので、少し検討材料にさせていただけるといいと思います。

○説明員 アンケートそのものには、男女を書く欄はございませんが、お名前が書いてあれば、ある程度男女はわかります。どういう時間帯がいいのかという項目を1つ設けてアンケートをとるのも一つの方法だと思いますので、少し検討させていただきたいと思います。

○教育長 その他ご質問等ございますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第4を議題とします。

(日程第4 平成30年度学校標準給食費の検討について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。

○委員 給食費についての納付率はどのくらいですか。

○説明 私費会計でございますので、学校長が集約をし、それを私どもで改めて調査をかけさせていただいている状況です。平成28年決算終了時点での各小学校・中学校での給食費の未納者の状況ですけれども、小学校の未納者については学校数では4校で未納者がございました。中学校では1校で未納者がございました。

児童・生徒数に占める未納者の割合は、小学校で6人、0.07%、中学校では2人、0.08%です。金額に占める割合ですが、28年度の未納は小学校で20万675円で0.04%、中学校で12万1,618円で0.07%の状況です。未納の方については、引き続き督促等をしている状況でございます。

○委員 食事の大事さは見直され続けてきています。例えば平均身長が日本人は他の国より伸び率が良いのは食事の内容です。

給食は、体育と同じくらい大事だと思いますので、未納者が出ない程度の改定でまた頑張っていただけだと思います。

○教育長 その他ご質問等ございますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第5を議題とします。

(日程第5 目黒区立中学校における夏季休業中の英語教育事業について  
(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第6を議題とします。

(日程第6 教育委員会名義の使用承認状況について (報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第7を議題とします。

(日程第7 学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について (報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

〔 資料配布  
・学校統合推進課だより（南部・西部地区版）No. 19 〕

○教育長 以上で本日の定例会を閉会します。

（午前10時39分閉会）